

社保クラブだより

第135号 2024年(令和6年)7月31日発行 社会保険倶楽部福島支部

社会保険倶楽部福島支部総会開催



令和6年度 社会保険倶楽部福島支部総会 令和6年6月8日「コラッセふくしま」

令和6年度 総会を開催!!

あの日(二〇一一年・平成二十三年三月十一日)から十三年が過ぎ十四年目を迎えています。東日本大震災・その後の東京電力福島原発事故の復旧・復興は一步一歩前に進んではおりますが、未だに故郷へ帰還できない多くの被災者がおられます。令和六年元旦には能登半島地震が発生し大きな被害を受けられました。被災された方は大変な思いをされていることと思います。一日も早く故郷に戻り通常の生活ができますようお祈り申し上げます。

令和六年度の支部総会が、令和六年六月八日(土)午後三時三十分より会員三十二名の参加を得て「コラッセふくしま」において開催されました。総会前段に令和五年度にお亡くなりになりました会員三名の御霊に黙祷を捧げ、議案書に沿って進行されました。

支部長から支部会員の減少から事業が縮小されていること、新規会員加入の更なる勧誘についてお願い等の挨拶があり、船木東北福島年金事務所長から職員の大変な努力の結果である令和五年度の事業状況、更に実績向上を目指しての令和六年度の事業目標等「日本年金機構の近況」を丁寧な説明とご挨拶をいただきました。規約により支部長が議長となり星(善作)事務長により議案第一号から第三号までの提案がありすべて承認可決されました。厳しい予算・新型コロナウイルス感染症が「五類」移行されたとはいえ感染者が増えたりしている中、ゴルフ

クラブは、計画どおり実施できました。世話人の篠原さん及び関係者に感謝致します。

総会終了後、古希を迎えられた方々(四名)へ本部よりの祝詞と記念品、支部より記念品が代表者の谷野春雄さんへ支部長より手渡し贈呈されました。(欠席者へは後日郵送)その後写真撮影を行い懇親会へと移りました。各年金事務所長はじめ現職の方(厚生局・年金相談センター含む)九名に参加いただき、各年金事務所の所長・副所長からそれぞれの事務所の状況もお話しいただきました。会津若松が全国一位の評価をされたこと素晴らしいこととあります。

また、今回は福島・郡山以外の平・会津若松の会員の方も参加いただきました。当県は全国三番目に広い県の中で遠方より参加された会員の皆さんに場を盛り上げていただき感謝・感謝です。支部事業で二回の懇親会、現職・OBとの交流に話が弾み、福島のおいしいお酒(五月に発表された令和五年度 全国新酒監評会で兵庫県に次いで二番目に多い金賞受賞)で嗜み時間を忘れ楽しい一時を過ごし、次の懇親会が行われる新年会での再会を約束し合ったところです。



倶楽部総会挨拶

社会保険倶楽部福島支部長

星

敏

何かとお忙しい中、又大変暑い中ご出席いただきありがとうございます。本日は、議案書各議案についてご審議をいただきます。今年度は、在福理事会を行わず、支部理事会も省略させていただきます。本来ならば在福理事会を実施し、総会提出議案の審議をいただくべきところでありましたが、事情により書面によつて全理事のご意見を伺ったところとあります。ご理解願います。

ここ数年の当支部の課題は、会員数の減少による会費収入の減によつて、支部クラブだよりを三回から二回に縮小しているところとあります。支出削減に努めながら、できるだけ多くの会員の現況をお知らせをしたいと思っておりますが、会員減少傾向に歯止めを掛けることができず、皆様にはご迷惑をおかけしております。現在実施しております事業の継続充実・魅力ある新規事業の開拓を行うためには、何といたつても新規会員の増加を図ることであります。星善作事務長を中心として増加に向けて取り組みたいと思っております。本年度も更に取り組みたいと思っております。ご協力をお願いいたします。本年度も世話人会であります。本年度も昨年同様都合により欠席させていただきます。内容につきましては本日の社会保険倶楽部会報をご覧ください。本日の社会保険倶楽部会報に総会の状況・ゴルフ開催結果についての記事依頼があり原稿を送付する予定でございます。ご覧になっていただきたく思います。

本日の総会・懇親会は当会場の「き

いちご」さん大変ご協力をいただいているところであり有難く思っているところがございます。昨年も大変お世話になったところでございますが、星事務長の話によりますます日本年金機構をはじめ、社会保険関係組織は「きちご」さん種々配慮をいただき感謝しているとの話がありました。どうぞ今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

本日は久しぶりの懇親会を含んでの総会であります。遠方より平地区・会津若松地区からのご参加もあり大変有難く、嬉しく思っております。短い時間ではあります。懇親を深めていただきたいと思います。

総会のご挨拶

日本年金機構東北福島年金事務所長

船木 豊 史

東北福島年金事務所の船木でございます。福島勤務も今年で二年目に入ります。

引き続き皆様にはお世話になることになりましたのでよろしくお願ひいたします。

社会保険倶楽部福島支部総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日の総会の開催ですが、コロナ感染症が第五類に移行し約一年を経過し、ようやく落ち着いてきたようであり、昨年引き続き、こうして皆様がお顔を合わせて開催できましたこと、心よりお喜び申し上げます。

コロナ禍は長く暗いトンネルだったと思いますが、一方、コロナ禍で得たたくさんの教訓や、また、新しいものの見方や考え方や、新たな工夫や発見などもたくさんあり、けしてマイナ

スばかりではなかったと思います。コロナ禍と以前の平常時のいいところ取りをしながら、これからの新しい時代を、皆さまとともに歩んでいきたいと思っております。これまでの皆さまからのご支援・ご協力にあらためて感謝申し上げます。とともに、これからも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

次に、ご挨拶の場をお借りし、「日本年金機構の近況」について、時間の関係もございまして、ごく簡単にお話をさせていただきます。

まずは、大きな変化といたしましては、今年の新年会のお伝えしたとおり、これまで、六期約十一年にわたり、機構組織の運営、そして再生にご尽力いただいた水島理事長が退任いたしました。また、機構の業務運営の基となる「中期計画」も、第三期中期計画が終了し、第四期中期計画として今後五年間の計画が示され、あらたなスタートを切ることになりました。

第三期中期計画の実績は、一言で申し上げれば、国民年金、厚生年金適用・徴収、年金給付、オンラインビジネスなど全ての事業において目標を達成しました。

また、令和六年は新理事長のもと、「第四期中期計画」の初年度として、極めて重要な大きな変革の年となりまので、今年の組織目標を、「さらなる高みへの挑戦、信頼され続ける組織であるために」とし、「基幹業務の着実な推進、デジタル化への積極的な対応、全チャネルを連動させた効果的・効率的なサービスの構築」これらを柱に事業を推進していくことにいたします。

特にデジタル化につきましては、ねんきんネットやマイナンバーを活用すること、すでにご利用いただいております。年金受給者の方の扶養親族申

告書の電子申請や源泉徴収票の電子送付、また、先日三日にプレスリリースしていただきます。老齢年金請求書の電子申請が始まりました。これは、年金の未加入期間がないなど一定の条件を満たした方を対象に、スマホやパソコンから年金請求が可能となるものでございます。ねんきんネットやマイナポータルを活用したオンラインサービスの利用につきましては、皆様やご家族・ご親族、知人の皆さまにも、ぜひともお試しください。よろしくお願いいたします。

次に、あと一点だけ、皆様が興味をお持ちになるであろう話題として、今年度の年金額の改定について簡単に話させていただきます。

昨年令和五年度は、調整の基となる賃金や物価の変動率の関係で、六十七歳以下の方は二・二％、六十八歳以上の方は一・九％と、年齢によって増上率が異なっていました。一方、今年度は、賃金、物価ともにプラス、かつ、賃金が物価を下回っているため、年齢にかかわらず、同じ増上率二・七％増額となりました。なお、これには、マクロ経済スライドによる給付水準の調整▲〇・四％が差し引かれたものでございます。

(二・一％ー〇・四％＝二・七％)
ちなみに、今回の改定は過去二番目に高い改定率(平成四年度が三・三％)となりました。具体的に年金月額で申し上げますと、国民年金では標準的(七五〇円増額)、厚生年金では標準的な世帯の場合月額六、〇〇〇円の増額となり、特に国民年金の満額は、過去最高額八一六、〇〇〇円となりました。

第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算報告

ことになりました。本日は時間の関係もあり、この辺までとさせていただきますが、今後このような場をお借りし、年金機構の近況や制度改正等について皆様にお伝えしていきたいと思っております。最後に、本日参加している現役の機

令和5年度事業報告

1、総会の開催

定期総会を、令和5年6月3日(土)福島市 コラッセふくしま 「きいちご」において、開催。懇親会も4年ぶりに実施しました。審議の結果、次の議案について承認されました。

- (1) 第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算
- (2) 第2号議案 令和4年度剰余金処分(案)
- (3) 第3号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)
- (4) 第4号議案 任期満了に伴う役員改選(案)

※当日の日程

15時30分	総会	(終了後写真撮影)
16時00分	懇親会	(17時30分終了)

2、理事会の開催

- (1) 理事会(時間短縮のため実施せず。議案書は事前文書により承認を受けた。)
- (2) 在福理事事務打ち合わせ会
4月27日(木)「コラッセふくしま」にて開催。
※事前に会計監査を同場所において実施。

3、事業の実施

- (1) 支部会報の発行 7・2月に発行(133号, 134号)
- (2) 諸資料等の配布
 - ① 本部倶楽部会報の配布(7・1月号、年2回)
 - ② 支部会員連絡網の配布(7月号のクラブだよりと同封して送付)
- (3) 新年会の開催
令和6年1月20日(土)
コラッセふくしま 「きいちご」 (懇親会も時間短縮しての実施。)
- (4) 慶弔事業
慶弔に関する本部取扱及び支部支給規程により対応
米寿会員(支部) 0名
傘寿会員(支部) 7名(芥川盛・大堀征作・高橋悦雄・恵花忠男・小坂橋秀見・大堀重昭・高橋實)
古稀会員(本・支部) 4名(小林久・丹野茂生・齋藤雅裕・小畑仁)
物故会員 3名(佐藤義明・冠木謙治・金子健次)
- (5) クラブ活動への助成事業
ゴルフ(年3回実施)及び旅行会(未実施)
- (6) 本部事業への参加
 - ① 世話人会 令和5年5月18日(木) 東貨健保会館にて開催、星支部長欠席。
※提案された案件についてすべて承認。(本部会報に詳細)

構職員を私から紹介させていただきます。なお、懇親会の場では、それぞれ一言挨拶の時間を設けていただければと思います。結びなりますが、今後とも県内所長が連携協力のもと、年金事業の運営及

び県内の事業実績向上に努めて参る所存ですので、会員の皆様のご理解、ご協力と温かいご支援、ご助言、ご指導等を今後とも引き続き賜りますようお願い申し上げます。私からは、あいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

令和5年度 収入支出決算書

収 入	549,528 円
支 出	402,692 円
残 高	146,836 円

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
前年度繰越金	65,134	65,134	0	
会費収入(会員)	450,000	456,507	6,507	
雑 収 入	866	27,887	27,021	利子 百軒孝俊・中村英治両氏よりの寄附 「きいちご」よりのサービス
計	516,000	549,528	33,528	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
本部納付金	165,000	165,000	0	
事 業 費	150,000	83,500	-66,500	総会費、会報印刷費、部会助成
事 務 所 費	100,000	70,172	-29,828	事務費、旅費、通信費
慶 弔 費	100,000	84,020	-15,980	米寿0名、傘寿7名、古稀4名、お悔やみ3名
雑 費	1,000	0	-1,000	
計	516,000	402,692	-113,308	

監 査 報 告 書

規約第9条第4項の規定に基づき、令和5年度の事業執行状況、及び経理状況について監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 監査日時 | 令和6年5月20日(月) 15時00分から |
| 2 | 監査場所 | 一般財団法人福島県社会保険協会 事務室 |
| 3 | 監査対象 | 令和5年度事業報告書、収支決算書類及び預金通帳 |
| 4 | 監査所見 | 事業執行状況は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため一部未実施の事業があるが、ほぼ計画通りに実施されている。
また、会計決算書類、帳簿、証拠書及び預金通帳を精査したところ正当に支出されていることを認める。 |

令和6年5月20日

監事 丹 野 茂 生



監事 松 浦 壽 夫



社会保険倶楽部福島支部長 様

第2号議案 令和5年度収支決算剰余金処分(案)

剰余金	146,836円
これを次のように処分したい	
令和6年度へ繰越	146,836円

第3号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)

令和6年度 事業計画(案)

1、総会の開催

令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)等を審議するため開催する。

とき 令和6年6月8日(土)

ところ 福島市 「コラッセふくしま12階 展望レストラン きいちご」

2、事業の実施

(1) 支部会報の発行 2回(7月135号・2月136号)

(2) 諸資料等の配布

① 本部倶楽部会報の配布(7月・1月号の2回)

② 支部会員連絡網の配布(7月)

③ 総会時撮影の記念写真配布(7月)

(3) 新年会の開催(令和7年1月18日(土) / 「コラッセふくしま」で開催予定)

(4) クラブ活動の助成(ゴルフ3回・旅行会1回)

(5) 慶弔支給規程に基づく対応

米寿会員 2名(井上利明・佐藤吉生)

傘寿会員 6名(伊関新・新妻惇・酒井君穂・原田昭雄・大内真一
河原田保佑)

古稀会員 4名(長嶺壽昭・篠原孝男・佐竹敦夫・谷野春雄)

3、本部事業への協力

(1) 世話人会 令和6年5月16日(木) 午後1時30分から

「東貨健保会館」 6階ホール

4、その他

令和6年度 収入支出予算(案)

収 入 573,000 円

支 出 573,000 円

残 高 0 円

収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	146,836	65,134	81,702	
会費収入	426,000	450,000	-24,000	
雑収入	164	866	-702	利子等
計	573,000	516,000	57,000	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
本部納付金	157,500	165,000	-7,500	
事業費	170,000	150,000	20,000	総会費、会報印刷費、部会助成
事務所費	145,000	100,000	45,000	事務費、旅費、通信費
慶弔費	100,000	100,000	0	米寿2名、傘寿6名、古稀4名
雑費	500	1,000	-500	
計	573,000	516,000	57,000	

資料1

令和6年度 賀詞会員

「米寿(長寿)」 (記念品は支部)

井上 利明			昭11. 4. 26
佐藤 吉生			昭11. 5. 7

2名

「傘寿」 (記念品は支部)

伊関 新			昭19. 4. 3
新妻 惇			昭19. 8. 1
酒井 君穂			昭19. 9. 12
原田 昭雄			昭19. 11. 18
大内 眞一			昭19. 11. 20
河原田 保佑			昭20. 3. 20

6名

「古稀」 (記念品は本部・支部)

長嶺 壽昭			昭28. 4. 11
篠原 孝男			昭28. 5. 24
佐竹 敦夫			昭28. 7. 4
谷野 春雄			昭29. 2. 6

4名

社会保険倶楽部福島支部会員数

令和6年4月1日現在

会員総数	120名	名誉会員9名・支部のみ会員3名を含む
退職会員	104名	
現職会員	16名	
調定会員数	111名	120名－9名(名誉会員)

※ 調定会員内訳(一般会員(4,000円)108名、支部のみ会員(2,000円)3名)

※ 本部報告会員数(本部へ1,500円納付)108名

資料2

令和5年度に逝去された会員

令 5. 4. 24	佐藤 義明	福島市	75歳
令 5. 11. 1	冠木 謙治	福島市	78歳
令 6. 1. 22	金子 健次	福島市	88歳

3名

令和5年度の加入者・退会者

<加入者>

令 5. 5. 11	高橋 朝也	相馬年金事務所長	入会届
令 5. 5. 24	佐藤 幸夫	街角の年金相談センター長	入会届
令 5. 6. 2	安田 征夫	石巻年金事務所長	入会届

3名

<退会者>

令 5. 6. 3	水沢 昇		退会届
令 5. 6. 3	安齋 正人		退会届
令 6. 3. 31	川島 実		退会届
令 6. 3. 31	鹿山 正悟		退会届

4名

資料 3

社会保険倶楽部福島支部役員

(任期:令和5年度総会から令和7年度総会まで)

(敬称略)

	氏 名	備 考
支部長	星 敏	
副支部長	五十嵐 和典	社保協会郡山支部事務局長
〃	(欠員)	
理 事	木村 信雄	福島県年金受給者協会連合会長
	(令和7年度補充予定)	
〃	遊佐 義一	
〃	馬場 悦子	
〃	佐藤 憲生	
〃	小沢 昭吉	
〃	新妻 惇	
〃	猪狩 明	
〃	堀川 俊成	
〃	酒井 君穂	
〃	神野 直樹	
〃	平田 光義	
監 事	丹野 茂生	福品県受給者評会連合会常務理事
〃	松浦 壽夫	
顧 問	高野 勝亥	
事務長	星 善作	社会保険協会協会専務理事 福島県社会保険委員会連合会事務局長

会員から近況が 寄せられています

令和6年度総会の出欠ハガキより

報告遅れて申し訳ありません。十一月コロナ感染以降、体力に自信が持てず遠出ができません。しばらくぶりに皆さんとお会いしたですが。

小豆畑 悦雄

今春日本人男性の平均寿命に至ったから、あとはホントの余生でしょう？認知症予防し健康を維持して悠々と熟年余生を大いに謳歌しましょう(か)。

阿部 弘美

後期高齢者の仲間入りです。変わりなく二本松病院でやっています。

有壁 讓

古稀を迎えました。健康のことを考えて過ごしたいと思えます。

五十嵐 和典

残念ですが本年も欠席です。通院加療中ですがいたって元気に過ごしています。

猪狩 明

持病の腰痛と肩の痛みで相変わらず闘っています。草刈と孫の面倒の毎日です。

石井 勇新

変わりなし。

石山 東二

コロナの影響、高齢になって遠出の旅行はままならなくなり、過去のOBで訪れたテレビなどで見る情景を懐かしく思い出します。今は近間の散歩が日課になっ

ています。

井上 利明

残された人生を大過なく過ごしていきたいと考えています。

大内 眞一

交友関係がだんだん少なくなり寂しさを感じますが、ゴルフなどで健康を維持しています。今年の社保コンペには皆出席をめざしております。

大森 勝寿

日本百名山を目指し、現在八十五歳まで達成。来年には踏破したいと思っています。

小澤 昭吉

今が一番元氣充実と自分は思っている。ウルサイ高貴高齢者直前です。やりたいこと、食いたいこと挑戦します。元氣すぎて車にはいつもキズつけて申し訳ないこの頃です。

片寄 隆司

孫の児童クラブへの迎えと犬の散歩が日課になっています。また、母の通院(月二〜三回)付添をしています。

加藤 良範

平年金事務所二年目となりました。今年五十九歳になります。皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

菅野 敏功

○健康には変わりなく元氣でやっています。○五十年以上の歴史ある年金受給者協会は会員の大減少と役員の高齢化により、会の運営が困難になっております。残念ですが近く解散せざるをえな

い状況です。

木村 信雄

毎年、総会・懇親会への参加を楽しみにしていましたが、どうしても外せない用事があり欠席となります。ご盛会をお祈りしております。

木谷 豊

足腰が弱くなり、猫の額の菜園を今年はどうするか思案中です。総会のご盛会をお祈りします。

小坂橋 秀見

足・腰の痛みに耐えながら妻と一緒に家庭菜園を楽しんでおります。

後藤 泰夫

変わりなく生活しております。

小林 久

盛岡市の勤務三年になります。貴会の盛会をご祈念申し上げます。

齋藤 智

三月に脳塞栓症で一ヶ月入院しました。幸い大事に至らず左手のマヒも改善しました。食生活と身体のメンテナンスは大事ですね。

齋藤 正

コロナの五類移行も一年を経過しました。この間ワクチンを六回接種し、今だに買い溜めたマスクのお世話になっております。そろそろ平常時の生活に復したいものです。私はいたって元氣です。

齋藤 雅裕

当日は、区長会用務と重なり欠席させていただきます。地域のためもう少しだ

け頑張ってみます。

酒井 君穂

申し訳ございませんが、所用のため欠席させていただきます。仙台で四年目の春を迎えましたが元氣に頑張っております。

佐川 明人

元氣に過ごしております。

佐藤 賢司

間もなく卒寿を迎えます。長生きしています。これまで支えて頂いた多くの皆様に感謝。人生の終盤一日を大切にしたい。当倶楽部と皆様の繁栄を祈ります。

佐藤 元

福島市での詩吟教室と地元会津美里町のウォーキングクラブで楽しんでいます。

佐藤 義和

認知症が心配です。

佐野 俊壽

八十歳代の壁を越えるべく日々頑張って生活を送っています。

三瓶 和男

高齢により遠出むりなり。欠席します。(週一回介護受けています。)

澤田 光威

四月より栃木事務所へ異動となりました。会津若松での三年三ヶ月大変お世話になりました。今後ともよろしくお願いたします。

白岩 忠信

視力が心配だった運転免許の更新も無事合格となりましたが、年齢には勝てず目薬・鼻薬・耳薬その他数種の薬の効能か、

我妻と二人でまずまず平穩に過ごせております。足腰の弱りも、それなりですが。

鈴木 誠一

この度(三月)には、傘寿の記念品を賜りありがとうございます。

高橋 實

昨年二月より社保協会・委員会事務局を担わせていただいております。家事・農業・孫守り・仕事と日々過ごしております。遊びをもっと増やしていこうと思っております。

高木 末子

まだまだと思っておりましたが、二月で七十歳になりました。

谷野 春雄

受給者協会に勤め、落語も続けています。昨年、胃を三分の二切除し、十キロ減量しました。体が軽くなりゴルフや農作業と軽快に動き回っております。

長嶺 壽昭

人の名前は思い出せない。又物忘れも激しく妻の介護は週三回と前年同様の状況であるため、今年は昨年同様元気に過ごしていきたいと思えます。総会・懇親会に参加できず申し訳ありません。

新妻 惇

相変わらず元気に過ごしています。

新妻 信子

郡山年金事務所にて一年お世話になることとなりました。

根本 武明

仙台勤務二年目に入りました。一年で異動になり「地域包括ケア」を担当しております。初めての業務で少々とまどっております。

野地 宏三

体調はまあまあですが、他に用事がありませんので欠席します。暑い夏になりそうなので気をつけて生活したいと思えます。ご盛会をお祈りしています。

箱崎 桂子

所用があつて出席できません。ジャガイモの花が咲き始めました。五月中にさくということは今までにないことです。

橋本 清太郎

遅くなつてすいません。毎日病院通いです。盛会をお祈りします。

馬場 悦子

トマト、スイカ等の夏野菜を定植しましたが、結果は？一応元気に過しておりますが、おつきあい頂いた方々がいなくなるのは寂しい。

百軒 孝俊

一月二十五日、脳梗塞発症。通院で点滴、投薬、食事療法を行い三月六日の検査で症状の回復が確認され、通常の生活に戻る。楽しみのゴルフも四月十二日からコースに出られるようになり、「人生健康第一」を痛感したところです。皆様の健康をお祈りいたします。

平田 光義

福島事務所勤務も二年目に入りました。倶楽部会員の皆様には引き続きお世話になりますのでよろしくお願いいたします。

船木 豊史

趣味を活かして、お陰様で元気に過ごしています。

堀川 俊成

当日、所用のため欠席させていただきました。会の盛況をお祈りしております。

本田 秀明

人に貸すほどの畑があるのに、猫の額ほどの菜園で野菜づくり、花植えに励んでおります。

松浦 壽夫

足腰の痛みと共に暮しています。

向井 功

長寿リスクを妻と共に存分に共有しております。

命長 廣司

元気で長生き、そんな年齢が近づいて来た事を実感。まだまだやりたい事盛りだくさんです。皆さんお体を大切に!!

桃井 利昌

盛会を祈念します。

安川 秀夫

「野」と化した庭を楽しんでいます。

柳沼 弘

所用があり欠席します。元気に生活しています。盛会をお祈りいたします。

遊佐 義一

最近体調に合せ庭木の剪定など体動かす様になっています。

吉田 忠晴

元気で過ごしています。倶楽部だよりの皆さんの近況報告を楽しみにしています。皆さんの健康をお祈りします。

吉野 純夫

九十一歳になりましたが、まあまあ元気です。

渡部 和雄

郡山市駅前のビックアイ六階で「田村市の作家四人展」が無事終了しました。日本画、彫刻、ミクストメディア画、油絵(私)合計五十点程度展示しました。それぞれ中央(東京)の展覧会に出品をしてる人たちです。社保OBの方々(遠くからも)にも来場していただきました。たまに品川郡山市長にも鑑賞していただきました。

渡辺 貞行

白河年金事務所での勤務二年目となります。会員の皆様方におかれましては、引き続きのご協力をお願いいたします。

渡部 高行

相変わらず平凡ですが、元気に過ごしております。

渡部 晴秀

野菜作りも前より大分種類も減って頑張っています。会費の納入を郵便局からできれば幸いです。

(氏名不詳)



第九十六回倶楽部ゴルフ大会

桃井 利昌

第九十六回社会保険倶楽部ゴルフ大会が、令和六年五月二十七日(月曜日)いわき市泉町にあるパイロンネ

当日の参加者は十人となり三組に分け、南コース、東コースの順に十八ホールを使用して十二の隠しホールを

- 優勝 長尾 茂
○準優勝 平田 光義
○第五位 片寄 隆司
○ベストグロ―賞 篠原 孝男



2024/05/27

お礼のお便りが届いております

◎佐藤 一元さんより

いつもご配慮頂き感謝しております。過日の支部懇親会に病床にあつたため、不参加となり申し訳ありませんでした。

遅くなりましたが、会費六千円を同封いたしました。ご査収ください。当倶楽部の繁栄と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

※病状悪化、歩行困難、外出不可のため銀行振込み困難、郵送させて頂きました。

◎吉野 純夫さんより

社会保険倶楽部の運営有り難うございます。

総会等には出席したいと考えています。が、いつも欠席で申し訳なく思っています。

県外でも仙台からは近いのですが、遠く感じてしまうのですね。

つきましては、今年度の会費を送付します。よろしくお祈り申し上げます。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

懐かしい方よりお便りが届いております

昨日(三月十一日)「第一三三号社保クラブだより」が送られてきました。奇しくも東日本大震災九十三年のその日にです。

大見出し、月日の経つのは早いものだなと思いつつも、まだ行方不明の方々、避難したままの方々が

を思うと、時間の経過だけではなかなか困難なことがあり、元旦地震の能登半島のこの先が思いやられます。

さて、「だより」ですが、毎回ありがたうございます。特に「近況」欄は楽しみです。お顔を思い出しながら読ませていただいております。

でも年金機構になり広域人事のせいでしょうか、思い出せないお名前や忘れたんじゃない最

宮崎に帰郷して十五年目、二〇一三年と二〇一八年の夏、五年の周期で駄文を差し上げましたが、昨年失念してしまいました。親父の初盆や一周忌法要のせいでしようか。

忙しいわけではありません。時間は有り過ぎてはいけません。

うに思います。物忘れは着実に進んでいるようです。

次回駄文予定は、二〇二八年で小生七十七歳の喜寿、多分忘れてしまふでしょうという訳で、今回は十年分の駄文と通信運搬費です。(笑)

まだ寒い日もありますが、もうすぐ桜ですね。富岡夜の森トンネル。福島の皆様、お元気で過ごしてくださいね。

二〇二四年三月十二日 中村 英治

◎事務局より

元福島社会保険事務局長の中村様には、度々ご寄附をいただき有難うございます。支部総会の議案書の決算で会員の皆さんにご報告させて頂きました。[だより]発行月の関係で時期がずれてしまいました。ご御容赦願います。何時までもご健勝であられますことをお祈り申し上げます。

発行 社会保険倶楽部福島支部
編集・発行人 星 善作
電話 〇二四(五)五九三二